

サイエンス部3部門、来年度全国高等学校総文祭出場決定！

～ 鹿児島県高等学校生徒理科研究発表大会で3部門最優秀賞～

11月2日(金)、鹿児島市宝山ホールで、第25回鹿児島県高等学校生徒理科研究発表大会が行われ、国分高校サイエンス部2年生は、4部門中3部門で最優秀賞となり、来年度佐賀県で開催される全国高等学校総合文化祭への出場が決定しました。また、残る1部門も第3位に入り、九州大会への出場権を得ました。全部門がそろって上位大会への出場を果たしたのは、国分高校サイエンス部でも過去最高となる成績です。日頃の探究活動の成果があらわれ、大変嬉しく思います。全国・九州大会でも頑張ってくださいと思います。

部門	出場数	国分高校研究発表題目	成績
物理	9	グリーンフラッシュの謎にせまる	最優秀賞、全国高校総文祭出場
化学	11	もみ殻を最大限に活用したバイオエタノールの生成	優秀賞、九高理研究発表大会出場
生物	17	ヤクシマエゾゼミはなぜそこにいるのか	最優秀賞、全国高校総文祭出場
地学	9	別府川河川敷で見つかった貝化石層の堆積環境を探る	最優秀賞、全国高校総文祭出場



地学班発表の様子



受賞を喜ぶサイエンス部2年生



本校の探究型学習を地域に発信



11月9日、英語の公開授業にあわせて「本校の探究型学習の紹介」を実施し、地域の学校関係者など約20名の参加がありました。本校の取組に関するさまざまな質問が相次ぎ、関心の高さを感じました。また、その中で、8月のSSH生徒研究発表会で文部科学大臣表彰を獲得した生物研究班の生徒がポスター発表を行うと、参加した方々は興味を持った様子で、熱心に聞き入っていました。これからも、本校の取組を地域へ発信し、成果の還元活動を継続していきたいと思ひます。

